

ソフトウェア品質保証 責任者の会

第2期 第9回会合次第

2014年6月28日(土) 13:00~17:00
ソフトウェア品質保証責任者の会準備委員会

本日の内容

- 13:00～13:10 オリエンテーション
本日の流れ
日科技連からのお知らせ
SQiPシンポジウム発表枠のお知らせ
- 13:10～15:00 講演(90分)+質疑応答(20分)
「やらせる」からの脱却
～ 失敗パターンから学ぶ自律促進アプローチ ～
講師：安達賢二氏 株式会社HBA
- 15:00～15:10 休憩
- 15:10～16:45 グループディスカッション
チームA “人財育成”
チームB “身の丈に合った開発プロセス”
- 16:45～17:00 グループディスカッション報告
* 終了後に懇親会（自由参加）を実施します。

SQ i P シンポジウム発表枠

SQ i P 枠 4 枠 (2 日 × 2) 中 1 枠確保

日時 : 9/12 (金) 12:40 ~ 14:20

「SQ i P のコミュニティ活動」

「責任者の会 紹介」 10 分

「活動成果発表」 30 分 × 2

(人財育成、身の丈プロセス)

本日は、タイトル、アブストラクト、登壇者を決めてください。

☆ 登壇者メリット

シンポジウムご招待

交通費のファイナンスサポート

講演：自律改善

- テーマ：「やらせる」からの脱却
～ 失敗パターンから学ぶ自律促進アプローチ ～
- 講師：安達賢二氏（株式会社HBA）



安達 賢二著
A5判176頁

<http://www.juse-p.co.jp/cgi-bin/html.pl5?i=ISBN978-4-8171-9510-4>

変化の激しい世の中ですから、ソフトウェア関連組織では毎年さまざまな取り組み・施策が実践されていると思います。手っ取り早く進めるためにトップが号令をかけて進める場合もあると思いますが、どのようなアプローチであれ「一方的にやらせる・押し付ける」モードを進めるとうまくいかないことが多いわけです。その状態を脱却し、組織のメンバーそれぞれが自律的に活動を進めるためには何が必要なのか？を、これまでの失敗経験や普段の生活にも存在する数々の失敗パターンから明らかにすることはできないかと考えました。自律改善を促すプロセス改善手法SaPIDで実践が必要なさまざまなプラクティスをなぜ／どのように組み込んだのか？の種明かしも含めてみなさんと共有したいと思います。



http://monoist.atmarkit.co.jp/fembedded/winembedded/report/seminar/02/ms_sapporo08.jpg

Windows Embeddedセミナーレポート（2）
組み込み技術者育成のいま
～はこだて未来大学の取り組み～

例会報告

■ 第2期活動

- 活動テーマ検討
 - テーマの分類とグルーピング
 - テーマ案化
- 活動テーマ紹介と検討
- チーム分け
 - 活動したいテーマ毎に分かれて活動
- テーマの詳細化
 - ブレインストーミングによるキーワード抽出
 - キーワードのグルーピングと“つながり”の確認
- 希望講師検討
 - 活動に必要な情報入手に適切な方を選定

準備委員会
が事前準備

活動中

チーム活動

テーマ分類

いただいたテーマ案を
含まれるキーワードな
どで分類しました。

テーマ案	分類1	分類2	分類3
各社の品質保証部門の抱える課題共有や事例紹介をし、その内容を討論する。	大方針		
ソフトウェア品質保証担当者の育成とSQuBOKの活用 技術的側面 – 品質保証の勉強を1から始める –	育成 育成	学習 学習	
どのような組織（プロジェクト）では、どのような品質保証・品質管理をすべきか。	研究・調査	プロセス	テーラリング
さまざまなプロセスモデルに対するソフトウェア品質保証	研究・調査	プロセス	テーラリング
そもそもプロセスはソフトウェア品質に貢献しているのか？	研究・調査	プロセス	
ソフトウェア固有の品質保証法とは？ ハードウェアの“ばらつき制御”と異なるアプローチ	研究・調査	プロセス	
ソフトウェアの最適な品質テストの仕方（仮）	実務品質部門 とテスト部門 （組織論）	品証観点テス ト技術	テストプロセ スによる品質 保証
デザインレビューの効率的なやり方 フロントローディングの割に手法が確立していない	実務	レビュー技術	
調達品（OTS/受託）に対するソフトウェア品質保証	実務	プロセス	受入テスト
品質管理部門を持たない中小企業でも明日から出来る品質への取り組み	実務	プロセス	テーラリング の一形態
一個人でも出来る品質を向上させる方法	実務	プロセス	テーラリング の一形態
ソフトウェアのプロジェクト計画とは？ 「組織的な改善の視点」のもの	研究・調査	プロジェクト	
火を吹いているプロジェクトの火消事例	実務		

テーマ分類

[基本的な考え方]
ソフトウェアの品質保証
はプロセスで行う

目指す姿を投影しました

大組織の品質保証を下敷きに
中小組織に適切な品質保証
それを目指す品質担当者

大組織の品質保証を下敷きに
中小組織に適切な
品質保証プロセスモデル

大組織 → 中小 → 個人

品質モデル構築
各種モデルのテーラリング
→ 受入テスト (COTS)
→ 品証テストの実装

Not 小技集

中小
個人

観点の
相違
類似

実装からの
Feedback

応用力を持つ
品質保証担当者
育成と適切な評価

育成 (教育)

Ex. ...
理解しやすい体系化
応用力
...設定と評価指標設定

基礎的知識
理解しやすい体系 (≠BOK)

Baseline

テーマ化

[基本的な考え方]
ソフトウェアの品質保証
はプロセスで行う

活動指標

大組織の品質保証を下敷きに
中小組織に適切な品質保証
それを目指す品質担当者

大組織 → 中小 → 個人

中小

個人

観点の
相違
類似

Not 小技集

活動テーマ案

大組織の品質保証を下敷きに
中小組織に適切な
品質保証プロセスモデル

品質モデル構築

各種モデルのテーラリング
→ 受入テスト (COTS)
→ 品証テストの実装

実装からの
Feedback

育成 (教育)

Ex. S

理解しやすい体系化

応用力

目標設定と評価指標設定

応用力を持つ
品質保証担当者
育成と適切な評価

基礎的知識
理解しやすい体系 (≠BOK)

チーム作業報告

- **講演内容**
 - タイトル
 - アブストラクト
 - 登壇者
- **ディスカッション**
 - 議論の深堀
- **報告**
 - 報告10分、質疑応答 5分

次回以降の予定

詳細は追ってお知らせします

- **第10回定例会** **2014年8月 2日(土) 13:00～**
 講 師：野中誠氏（東洋大）

発表資料作成進行状況により、上記以外にも活動の場を設定する場合があります。